

フリースタイル切手展2024

フリースタイル切手展は、1つの展示フレームに広範囲な材料を使用して、自由な発想のもとに構成した作品展です。テーマは自由で、従来の切手展では規定により使用できなかった材料、世界各国の郵便切手を出品することができます。そのため、より魅力的な構成、アイデアやオリジナリティを發揮することができます。

【選考について】

フリースタイル切手展は、郵便切手類及び広範囲な材料を使用して、多くの方々へ郵便切手文化の楽しみを広げていくことを目的としています。

選考委員会は、郵便切手文化に関する専門家により構成されます

(1)日本郵便(株)賞・特別賞

本切手展の目的と趣旨にふさわしい応募作品には、日本郵便(株)賞及び特別賞を授与します。

(2)選考委員会

委員長：池澤 克就((公財)日本郵趣協会公認審査員)

委員：玉木 明(日本郵便(株)切手デザイナー)、菊池 牧子(郵政博物館学芸員)

【表彰式のご案内】

日時：4月28日(日) 11:00～12:00

会場：6階イベントスペース

【展示作品】

※展示作品の紹介は作品番号、フレーム番号、作品タイトル、氏名、日本郵趣協会会員番号(会員のみのみ)、都道府県、作品解説の順になっています。

F01 Withコロナのその後(2021年～2023年)

伊藤 裕介 (P-152502・千葉)

スタンプショウ2021のフリースタイルに出品した「Withコロナの1年間」の続編です。その後のワクチンや治療薬などの開発によるコロナとの戦いと、2類相当から5類移行までの出来事をまとめました。

F02 コロナ禍での切手展 2020年度

嶋根 浩 (S-194093・埼玉)

「緊急事態宣言」発令により、郵趣を含めたあらゆる文化的活動が中止・延期に追い込まれた2020年4月～2021年3月の郵趣イベントの状況を、小型印、記念押印などで振り返ってみた。

F03 サグラダファミリアの魔方陣とその亜流

野口 喜義 (S-8981・東京)

スペインのサグラダファミリア教会の西門にある魔法陣の紹介。この「4×4の魔方陣」を切手を用いて表現し、そのサグラダファミリアの魔方陣をベースにした亜流作品(異なる数字の組合わせの創作品)の各種を、同様に切手を用いて紹介します。

F04 植物分類学者 牧野富太郎博士を偲ぶ 【特別賞】

高木 正美 (P-910668・埼玉)

令和5年春のNHK連続テレビ小説「らんまん」を機に牧野富太郎博士に魅了され、推し活を続けています。牧野博士ゆかりの地(東京都内、高知県内)を旅しながら、風景印を集めてみました。

F05 日本の名湯 温泉番付 【池澤選考委員賞】

横谷 一宏 (P-138378・北海道)

日本には数多くの温泉があります。温泉番付が初めて作られたのは、江戸時代の寛政年間と言われています。この作品では、昨年の「温泉番付」の結果をもとに、上位の温泉地について風景印や切手などでまとめました。

F06 日本のビックイベント

柴 由紀夫 (S-9181・東京)

戦後の昭和25年、朝鮮戦争での特需景気で日本経済は復興した。その後の高度経済成長で力をつけると、国家的なイベントや、国際博覧会などが開催されていく。今回の作品は、日本でのビックイベントと言われたものです。

F07 くじ付き年賀切手

太田 隆啓 (L-40・神奈川)

日本で初めて、世界でも初めてのくじ付き切手が平成2年の年賀切手として発売されました。62円のこの年賀切手のくじ番号に注目した作品です。

F08 菊切手とエコーはがき

饗場 利明 (P-178108・神奈川)

本年は、菊切手が発行されてから125年目にあたり、本年3月29日に、エコーはがきの発行が終了となった。本展示は、菊切手の使用例と、初期のエコーはがきを組み合わせて展開した作品である。

F09 せんいの話 【日本郵便株式会社賞】

柴田 公子 (S-194175・栃木)

人の衣食住の一角である「衣」の基本となる繊維について纏めた作品。今回は主に天然素材を取り上げた。化学繊維が発達した現代だからこそ天然素材について紹介したく思う。

F10 直筆の絵手紙で見る日本近代画壇の画家たち 【菊池選考委員賞】

犬飼 英明 (P-49178・東京)

有名画家の直筆エンタィアを長年集めています。その中から直接、絵筆を執って絵を描いたり、手刷りの版画を施した珠玉の実通葉書15通を展示します。描いた画家の人柄や、手紙文化の素晴らしさを感じていただけたら幸いです。

F11 私の好きなフランス切手～ミニシートを中心に 【ビジュアル賞】

馬場 千枝 (S-194137・東京)

豪華で美しいミニシートを中心に、大好きなフランス切手を1フレームにまとめました。パリのお散歩を楽しんでいるような気分で見ただけいたら嬉しいです。

F12 「国際児童年」記念

行徳 国宏 (S-173291・埼玉)

16リーフ内に収まる材料の日本切手だと、ストレートに通常切手に至る。それを記念特殊切手と同時発行の小型シートとで構成できないか。使用済、国内郵便及び外国郵便使用例で展開してみた。

F13 牧野富太郎と植物たち 【玉木選考委員賞】

川上 恵未 (千葉)

私は自然や植物が好きです。連続テレビ小説「らんまん」を私は見ていました。テレビはドラマでしたが、本当の牧野富太郎とはどんな人物なのか知りたくなり、調べてみることにしました。

F14 和食

今井 節子 (P-900807・神奈川)

和食の多様な食材は南北に長く、海、山、里と表現豊かな日本列島の自然によってもたらされています。キノコ、多種多様な魚、貝、甲殻類、海藻、野菜、穀物の渡来時期、和食の成り立ちを纏めました。

F15 四国郵便遍路 –切手と旅した八十八ヶ所–

真鍋 博貴 (神奈川)

ふるさと切手「四国八十八ヶ所の文化遺産」のモチーフ探しを兼ねた四国遍路の記録です。郵便ポストに対する応援と感謝の気持ちを込め、札所近くの郵便ポストに投函して配達されたはがきも展示します。

F16 スイレンに魅せられて

立川 賢一 (L-13・東京)

池沼の底泥から色鮮やかな花を水面に届けるスイレンは不思議な力が秘められているような気がします。スイレンが醸し出す魅力を、絵画、種類、保護活動などの切手の絵柄から感じて戴ければ幸いです。

F17 ふるさと～心象風景から

日本郵趣協会 女性郵趣サロン研究会

ふるさとは、現実的には日々変化していることと思いますが、ふるさとへの思いは、時に強く、時に弱く、よみがえります。心の奥にしまっているものに、そっと寄り添って、切手を通して表現してみました。

F18 いっぺーまーさん…食でたどる琉球史

田中 敏彦 (P-65725・大阪)

おいしいにつぼんシリーズ第5集「沖縄」に登場した食べ物は、どれもいっぺーまーさん(凄く美味しい)。切手・葉書・風景印などに描かれた様々なモノから沖縄の風土や歴史が見えてきます。

F19 青の世界(すみか)

姫路女学院高校「チーム プティ・ブルー」

切手の青色に魅せられたメンバーが集まりました。風景や動物、星座など、青い切手を中心に、自分の世界(すみか)を表現しました。

F20 スポーツわっしょい

姫路女学院高校「アスリート クラス」

私たちは女子サッカー部に所属しています。そのため、まずサッカーの切手に興味をもちましたが、まだまだ多くのスポーツが切手になっていることを知り、季節にも注目して、スポーツの楽しさを表現しました。

F21 絵封筒を読む

比留間 健一 (S-5046・東京)

絵封筒に書かれた文字や、絵そのものの意味を読み解く楽しみをお伝えできればと思います。

F22 静岡馬場町郵便局の郵便日付印

濱谷 彰彦 (M-1233・東京)

静岡馬場町郵便局は1899年(明治32)12月21日に開設された。静岡県庁や裁判所が近かったため特殊郵便物(書留、訴訟書類)が多く残されている。静岡馬場町郵便局の戦前の郵便日付印の変遷を展示する。

F23 世界の子供たち

田辺 善孝 (S-109122・埼玉)

昨今は45年前の国際児童年であった1979年と比べ、ウクライナへのロシア侵攻やパレスチナでの紛争と世界の緊張は高まっています。ここでは45年前に発行された子供たち笑顔の切手を展示してみました。

F24 わたしの好きなMC

沖下 倫子 (P-192911・広島)

市販のポストカードを台紙にMC(マキシマムカード)作りを楽しんでいます。試行錯誤の繰り返しですが、日々の郵趣活動の記録として、気に入っているものを選びました。

F25 令和六年・映画鑑賞とまち歩きの記録

竹内 麿微 (P-194503・埼玉)

令和六年に映画館で観た作品の紹介です。「聖地巡礼」と言うと大げさですが、ちょっとだけロケ地を訪れてみたりもしました。(一部ネタバレございます、ご注意ください)

F26 31文字(みそひともじ)に恋をして～今再び

秋本 恵子 (S-188433・神奈川)

千年以上前、「ひらがな」の普及に伴い多くの女性が和歌を詠み、文章を綴った。紫式部の「源氏物語」のように、31文字の和歌に心を込めて贈りましょう…。SNSの時代でも友好のツールとしての手紙に添えて、～「切手」をあなたに！

F27 新動植物国宝切手 1967年シリーズの使用例

北爪 和宏 (P-194778・千葉)

日本の普通切手で、切手カタログ上では標記の名称で分類されているものの使用例を展示した。